

# 農地・農業用水の防災利活用

## 大規模災害による教訓

- 阪神・淡路大震災等の大規模災害時には、火災が同時多発し、長時間にわたり火災が継続したため、消火用水が不足。
- 水道管の破損等による圧力低下により、消火栓が使えない状況も発生。
- 水道の復旧までに時間を要し、生活用水が不足。
- 都市部では、家屋が密集しているため、火災が拡大し、大規模被害に発展。

## 都市部における農地・農業用施設の現状

- 都市化により減少しつつも、都市部の農地は貴重なオープンスペース。
- 主要な農業用水路網は、保全されている。
- 農業用水は、季節的に水量が変動するものの、1年を通じて送水が可能。
- 農業用水路は、施設破損が生じても応急復旧が比較的容易。



将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震等による大災害に備え、農地・農業用水を活用した防災の取り組みが必要

## < 具体的取り組み >

### 農地の防災利活用

- ・ 大規模災害時に、農地を緊急避難地や延焼遮断帯、緊急資材置き場、仮設住宅用地等に活用。
- ・ 市町村と農地の所有者との間で、農地を大規模災害時に防災活用する協定を締結する防災農地登録制度を推進。

平成30年4月時点で堺市、貝塚市、守口市、寝屋川市、高石市、大東市、四条畷市、田尻町で実施



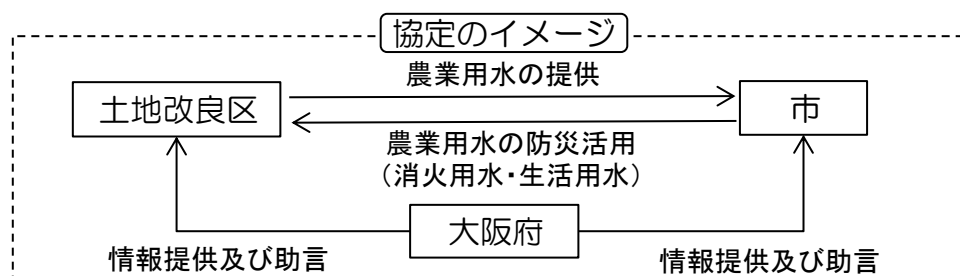
### 農業用水の防災利活用

- 大規模災害時に、農業用水を消火用水や断水が長引いた時の生活用水として活用。
- 大阪府・市町村及び農業用水管理者による防災協力協定の締結。
- 協定に基づく地域防災計画の策定支援及び利活用マップ作成・防災訓練等の推進。

#### → 【大規模災害時における農業用水を活用した防災活動に関する協定】

令和元年7月30日 富田林市、富田林市喜志土地改良区、府南河内農と緑

令和元年10月3日 松原市、別所連合町会、別所水利組合、別所財産区管理会、府南河内農と緑  
上記含め 大阪府内で13件締結（13市・15管理者）（R2.1現在）



農業用水路を使った防災訓練